

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	こまき巡回バス運行事業				担当部	都市建設部									
	会計区分	一般会計		事業類型	一般事業		担当課	都市政策課								
	事業期間	平成12年度以前		～	平成31年度以降		担当係	交通政策係								
	総合計画 新基本計画	施策等	6 都市基盤		22 都市交通		1 より効果的・効率的な公共交通ネットワークを形成します									
			重点事業		実施計画事業	○										
	予算区分	款	2		項	8		目	3		大	3		中	2	
	根拠法令・個別計画	道路運送法、小牧市総合交通計画														
	目的	何・誰を対象に	公共交通の利用者													
		どの様な状態にするのか	交通空白地域をカバーし、市内の公共施設へのアクセス手段を確保する。													
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>交通空白地域のモビリティ向上による空白地域の解消と公共施設へのアクセスの確保による施設の利用促進を目的に運行<<19コース(車両18台)>> 平成23年10月から、65歳以上の料金を無料化した。 運行時間:午前6時台～午後8時台 《直近のコース・ダイヤの変更》平成28年4月 市内北部・東部地区を4コースから10コースに再編し、うち6コースにワンボックス型車両3台を導入。</p> <p>【平成27年度直接経費の内訳】 こまき巡回バス運行検証委託料(864千円) こまき巡回バス停留所改修工事費(1,798千円) こまき巡回バス運行負担金(233,853千円) こまき巡回バス利用促進負担金(142千円) こまき巡回バスラッピング負担金(6,064千円) 報償費(331千円) 需用費(5,326千円) 役務費(184千円) こまき巡回バス運行準備負担金(23,316千円)</p> <p>【平成28年度直接経費の内訳】 こまき巡回バス停留所改修工事費(500千円) こまき巡回バス運行負担金(336,631千円) こまき巡回バス利用促進負担金(300千円) 需用費(3,261千円)</p>														
受益者負担	有 巡回バス利用料金 大人1日200円 小学生1日100円 高齢者(65歳以上)・幼児無料 受益者負担総額14,447,000円															

コスト			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額
	費用	直接経費		千円	142,289	156,862	271,878
正職員		従事者数	人	0.60	0.30	1.60	1.05
		人件費	千円	3,300	1,650	8,801	5,776
その他職員		従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
		人件費	千円	302	302	302	309
費用合計		千円	145,891	158,814	280,981	346,777	
対前年比		%		108.8	176.9	123.4	
財源	一般財源		千円	132,526	145,698	280,981	346,777
	国・県支出金		千円	0	0	0	0
	その他財源		千円	13,365	13,116	0	0

業	活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	績	1日あたり運行車両数 (平日)	台	目標	8	8	13
実績				8	8	13	
1日あたり運行車両数 (土日祝日)		台	目標	8	8	13	18
			実績	8	8	13	
年末年始を除き、毎日 運行するコース数		数	目標	—	—	13	19
			実績	8	8	13	
成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28	
年間利用人数	人	目標	365,000	372,000	532,000	618,000	
		実績	415,798	407,237	490,837		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	南部、中部、西部及び北里地区における平成27年4月再編により、年間利用者数は、前年度比約20.5%増加した。			
		事業実施における課題	市内の南部、中部、西部及び北里地区における平成27年4月再編にあたり、利用状況における評価・検証に係る基準を設定したが、平成27年度は、地区内幹線系路線である5コースにおいてその評価基準値を下回っている状況である。			
		基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	平成27年4月再編を実施した地区の利用者数は、前年度比約39.12%増とかなり増加していることから、効果的な公共交通ネットワークを形成することができた。			
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	北部、東部地区において、平成28年4月に再編を行った。今回の再編により、当該地区のコースが4コースから10コースに、車両も4台から9台と大幅に増加した。またダイヤに関しては、現行1時間半から2時間に1本を1時間に1本程度となり、自宅からバス停までの距離(直線距離)は概ね500m以内となった。			
平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	こまき巡回バスは、市民の日常生活の足を確保する重要な役目を担っているため。				
	29年度以降の改善案	3年ごとにPDCAサイクルにより評価・検証を行い、運行維持やサービス水準等について検討を行っていく。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。